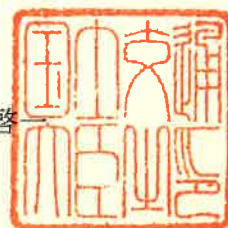


認 定 書

国 住 指 第 4 6 6 9 号
平成 28 年 5 月 12 日

株式会社ネオシスエイワ
代表取締役 田中 正則 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PC030BE-3578(2)

2. 認定をした構造方法等の名称

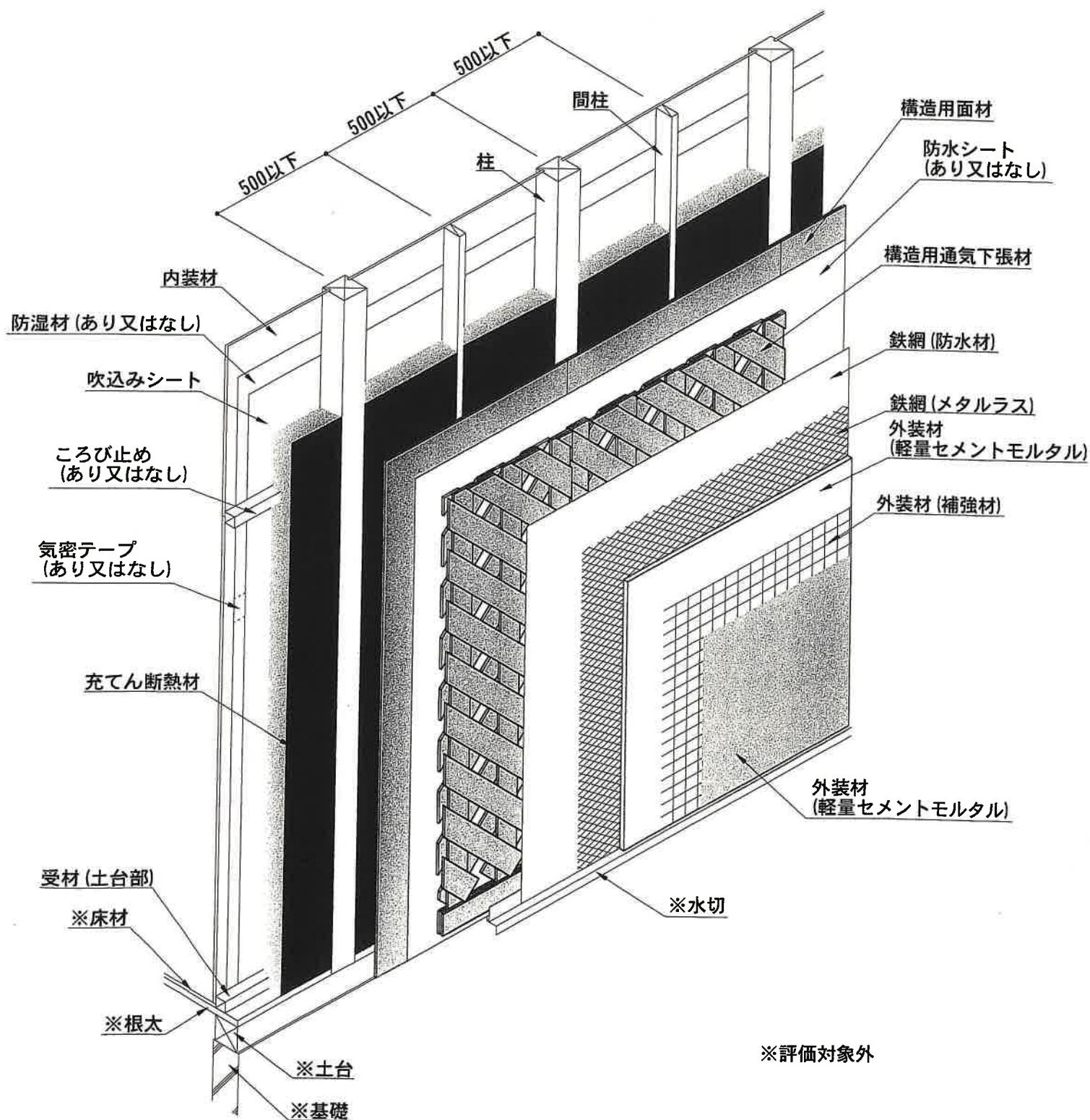
吹込み用繊維質断熱材充てん／軽量セメントモルタル塗・構造用通気下張材・構造用面材〔木質系ボード、セメント板、せっこうボード又は火山性ガラス質複層板〕表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

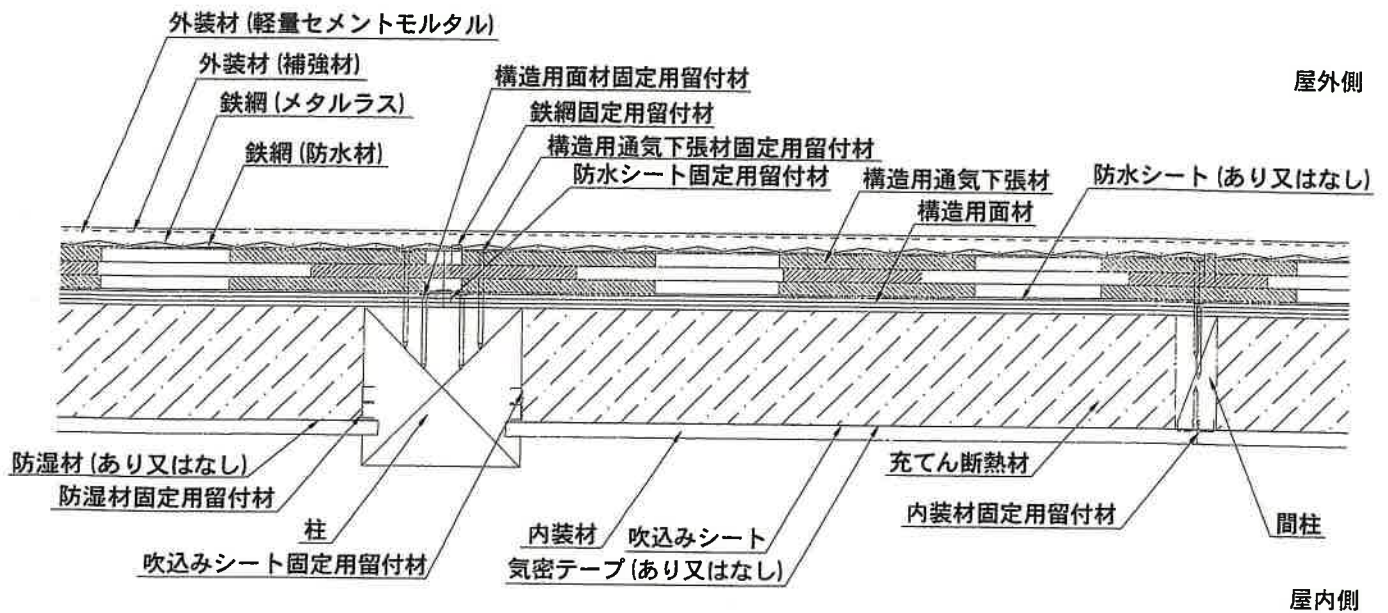
（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

単位mm

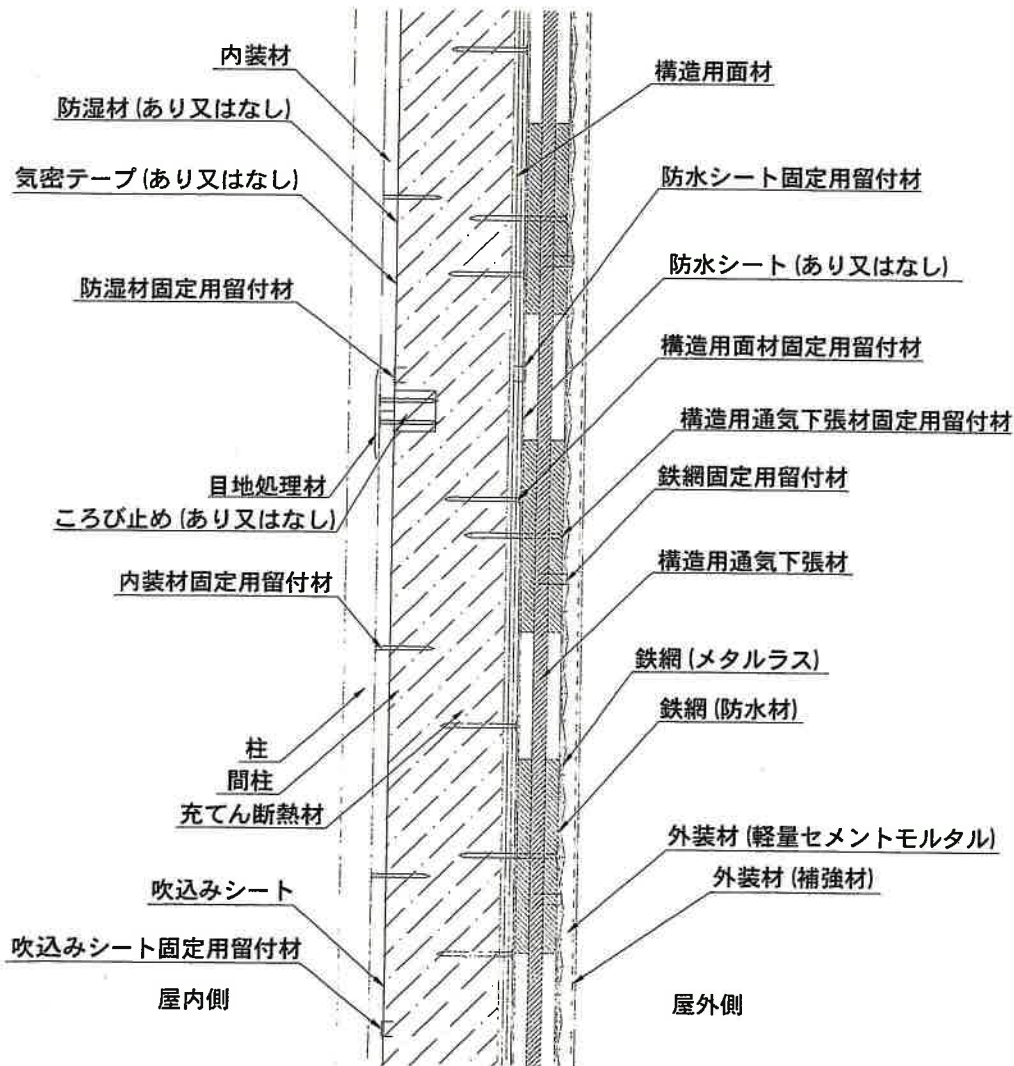


透視図 (欠き込み真壁造：構造用面材あり仕様)

図1 構造説明図



水平断面図

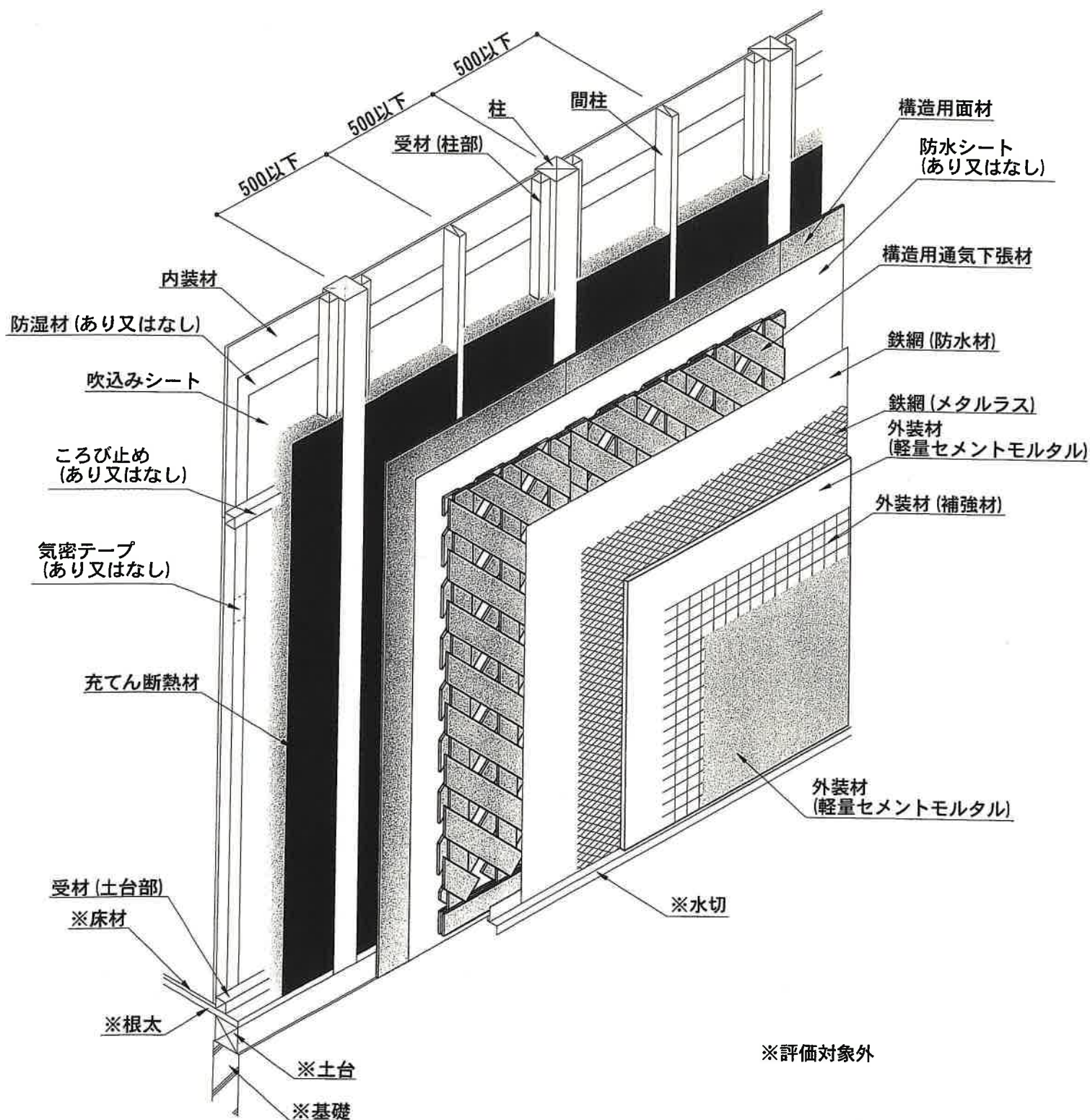


鉛直断面図

(欠き込み真壁造：構造用面材あり仕様)

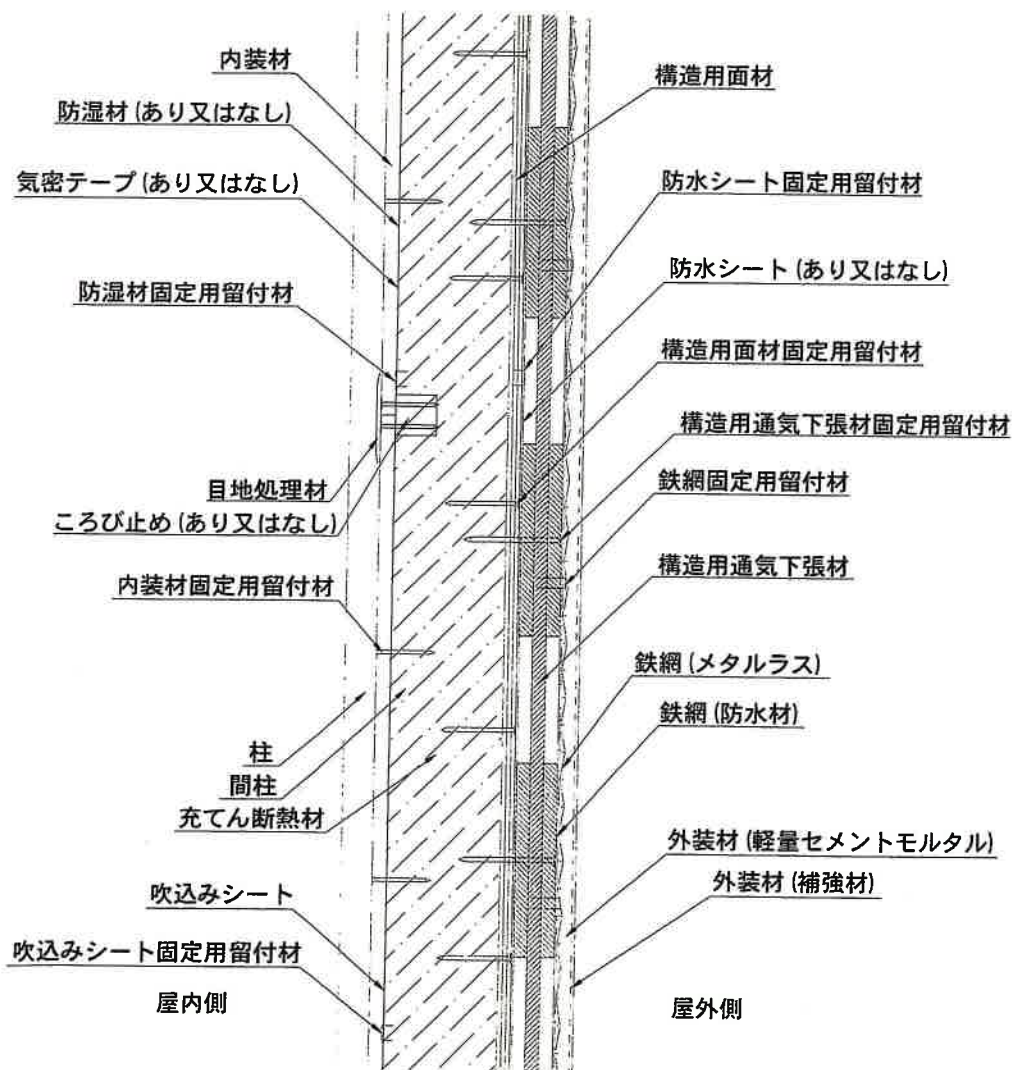
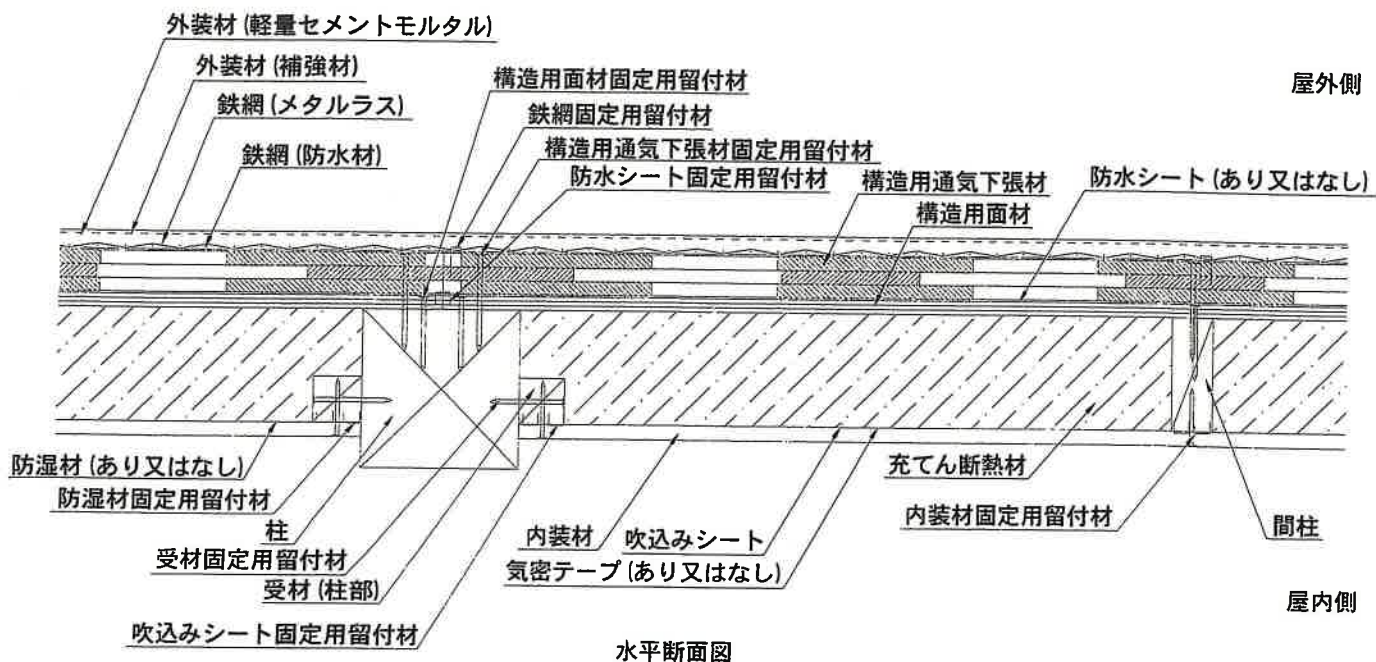
図2 構造説明図

単位mm



透視図 (受材真壁造：構造用面材あり仕様)

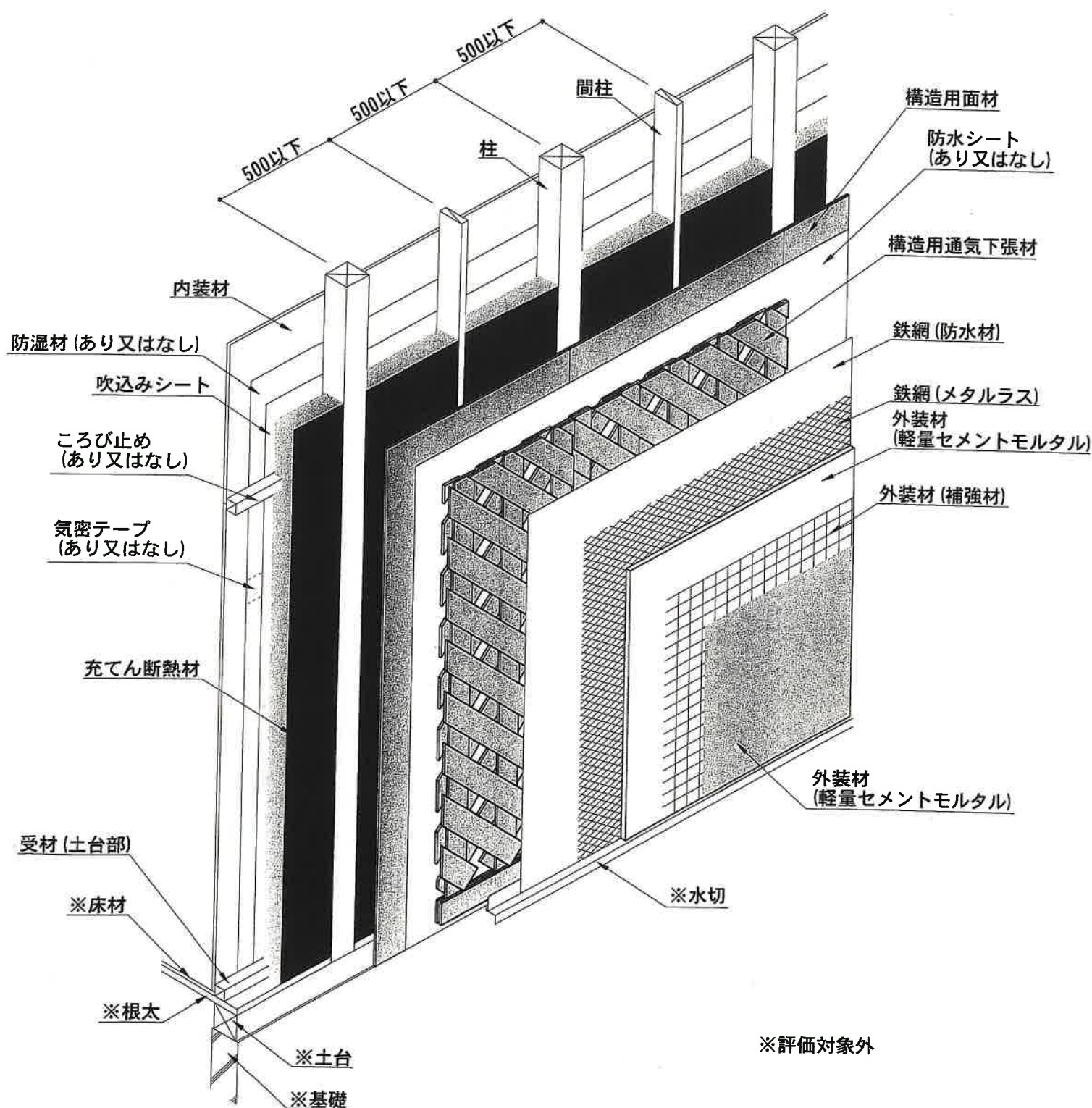
図3 構造説明図



(受材真壁造：構造用面材あり仕様)

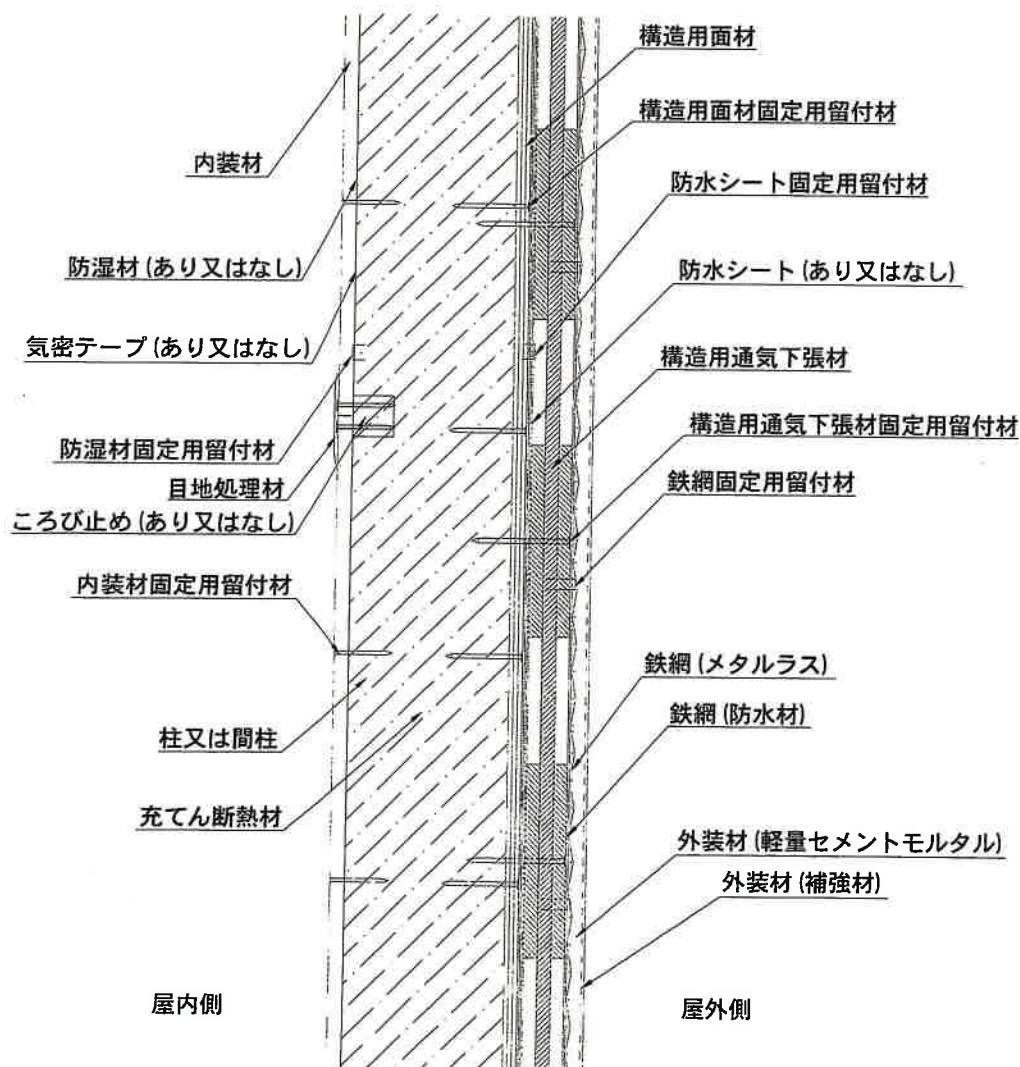
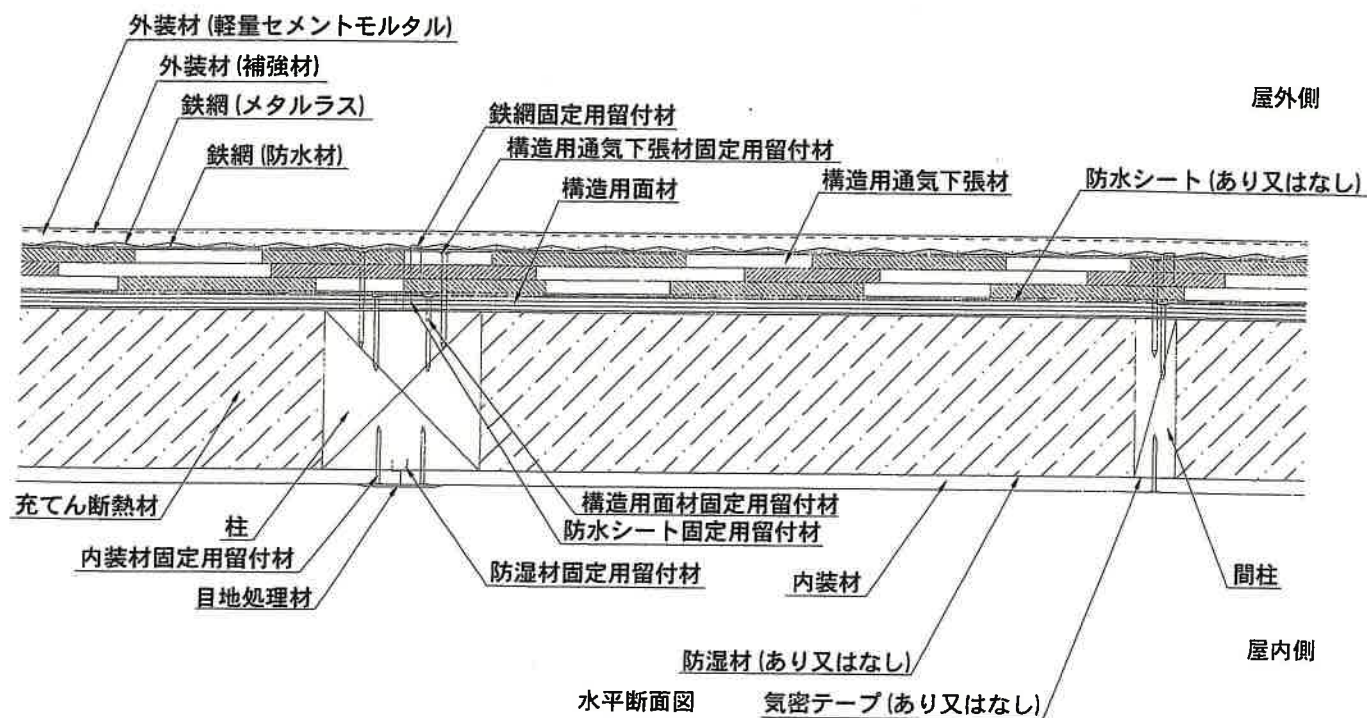
図4 構造説明図

単位mm



透視図(大壁造:構造用面材あり仕様)

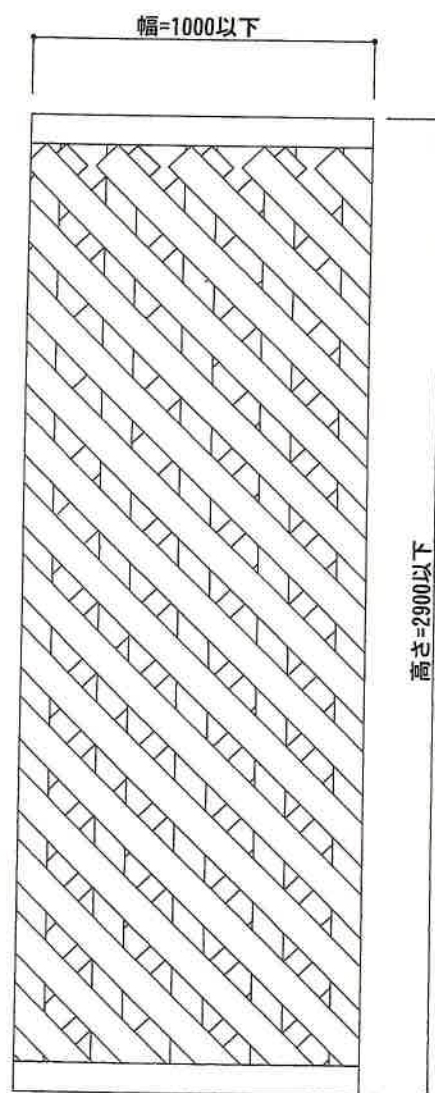
図5 構造説明図



(大壁造：構造用面材あり仕様)

図6 構造説明図

単位mm



構造用通気下地材

(構成：1枚の厚さ9以上、幅90以上の板による3層の格子パネル)

6. 施工方法：

施工図を図8～図10に示す。

施工は以下の手順で行う。

1) 下地の組み立て

柱・間柱、筋かい(評価対象外)等を土台(評価対象外)に建て込む。柱、間柱の間隔は500mm以下とする。

2) 受材(柱部、土台・桁部)の取付け(真壁の場合)

柱に内装材固定用の欠き込みを設けない場合は、受材(柱部)を、受材(柱部)固定用留付材を用いて柱に300mm以下の間隔で取付ける。

受材(土台・桁部)を、受材(土台・桁部)固定用留付材を用いて軒桁(評価対象外)、土台(評価対象外)等に取付ける。

3) 構造用面材の取付け

構造用面材は構造用面材固定用留付材を用いて取り付ける。

4) 防水シートの張り付け

防水シートを重ね代を縦、横共に100mm以上とり、防水シート固定用留付材を用いて、柱、間柱等に、たるみ、しわのないように張り付ける。

5) 構造用通気下張材(複層通気用パネル)の取付け

構造用通気下張材(複層通気用パネル)は、縦張又は横張とし、継目地部分が柱、間柱等の上にくるように構造用通気下張材固定用留付材で取り付ける。

6) 鉄網の取付け

構造用通気下張材(複層通気用パネル)に、鉄網(防水材及びメタルラス)を重ね代、縦、横共に100mm以上とり、鉄網(防水材及びメタルラス)は縦張又は横張とし、千鳥に配置する。メタルラスの網目は縦横とも30mm以上重ね、浮き上がり、たるみのないように鉄網固定用留付材を用いて取り付ける。

7) 外装材の施工(軽量セメントモルタルの塗付け及び補強材の伏せ込み)

①混練

軽量セメントモルタルと包装材に表示してある標準加水量をモルタルミキサーで混練する。

②軽量セメントモルタル塗り

こて圧を十分にかけ、厚さ12mm以上になるように塗付ける。

③耐アルカリ性グラスファイバーネットの伏込み

塗付け後、軽量セメントモルタルを少量塗付け、補強材を張り、こてで押さえ軽量セメントモルタルと馴染ませ、不陸調整を行う。

8) 養生期間

軽量セメントモルタルの仕上後、養生期間は10日以上(冬期14日以上)とする。

9) 吹込みシートの張り付け

吹込みシートの張付け位置は裏張(屋内側)とする。

吹込みシートは横張又は縦張とし、上下・左右の重ね代を100mm以上とする。

吹込みシート固定用留付材を用いて、できるだけたるみ、しわのないように留付ける。

吹込みシート目地部には、必要に応じて気密テープを貼り、断熱材を吹込む際にこぼれないようにする。

10) 断熱材の充てん

専用の施工機で、壁枠内に隙間なく吹込む。

11) 防湿材を取り付ける場合

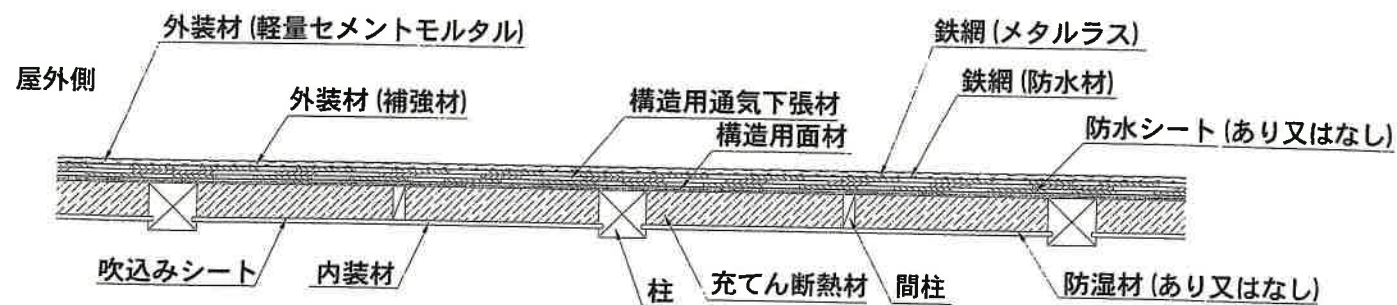
防湿材は横張又は縦張とし、重ね代を縦、横共に100mm以上とり、防湿材固定用留付材を用いて、柱、間柱に、たるみ、しわのないように張り付ける。

12) 内装材の取付け

内装材は内装材用固定用留付材を用いて柱及び間柱等に取り付ける。

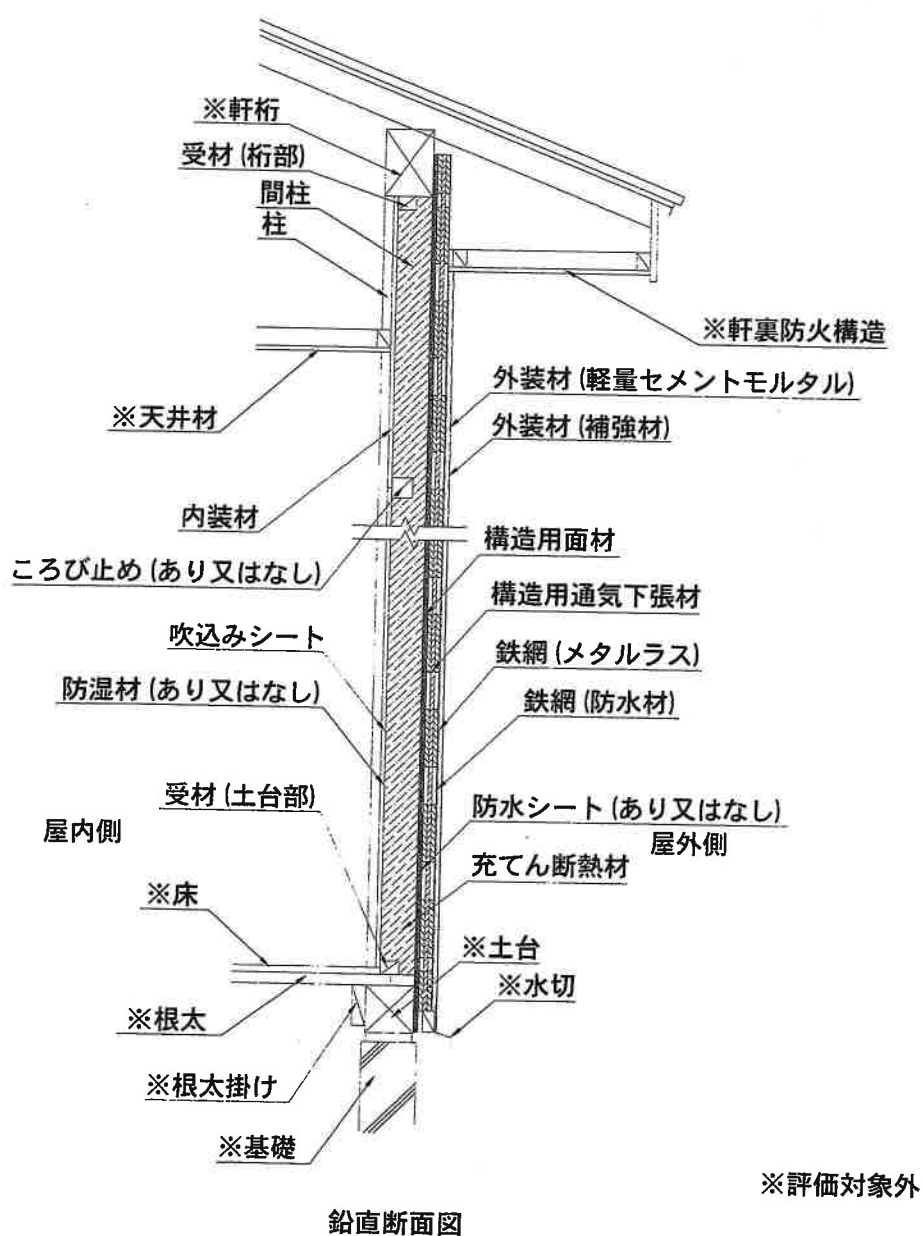
目地部には、目地処理材を施す

真壁造の柱の欠き込み仕様の場合は柱の欠き込み部に内装材をはめ込む。



屋内側

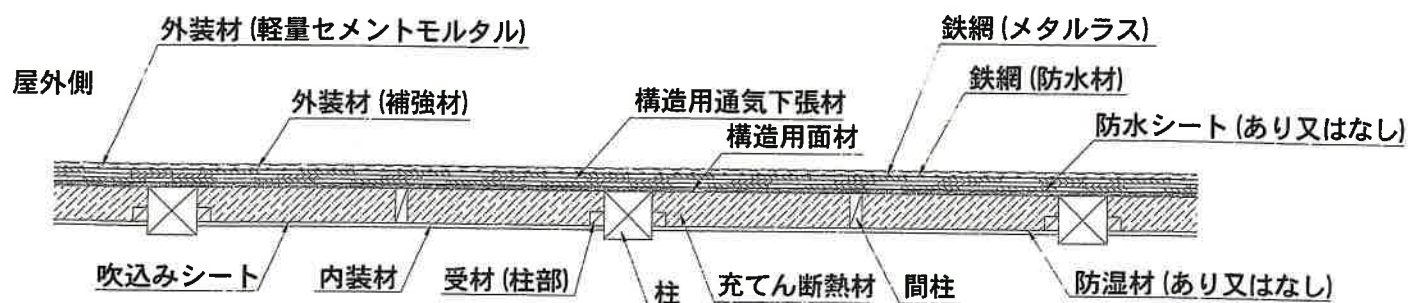
水平断面図



鉛直断面図

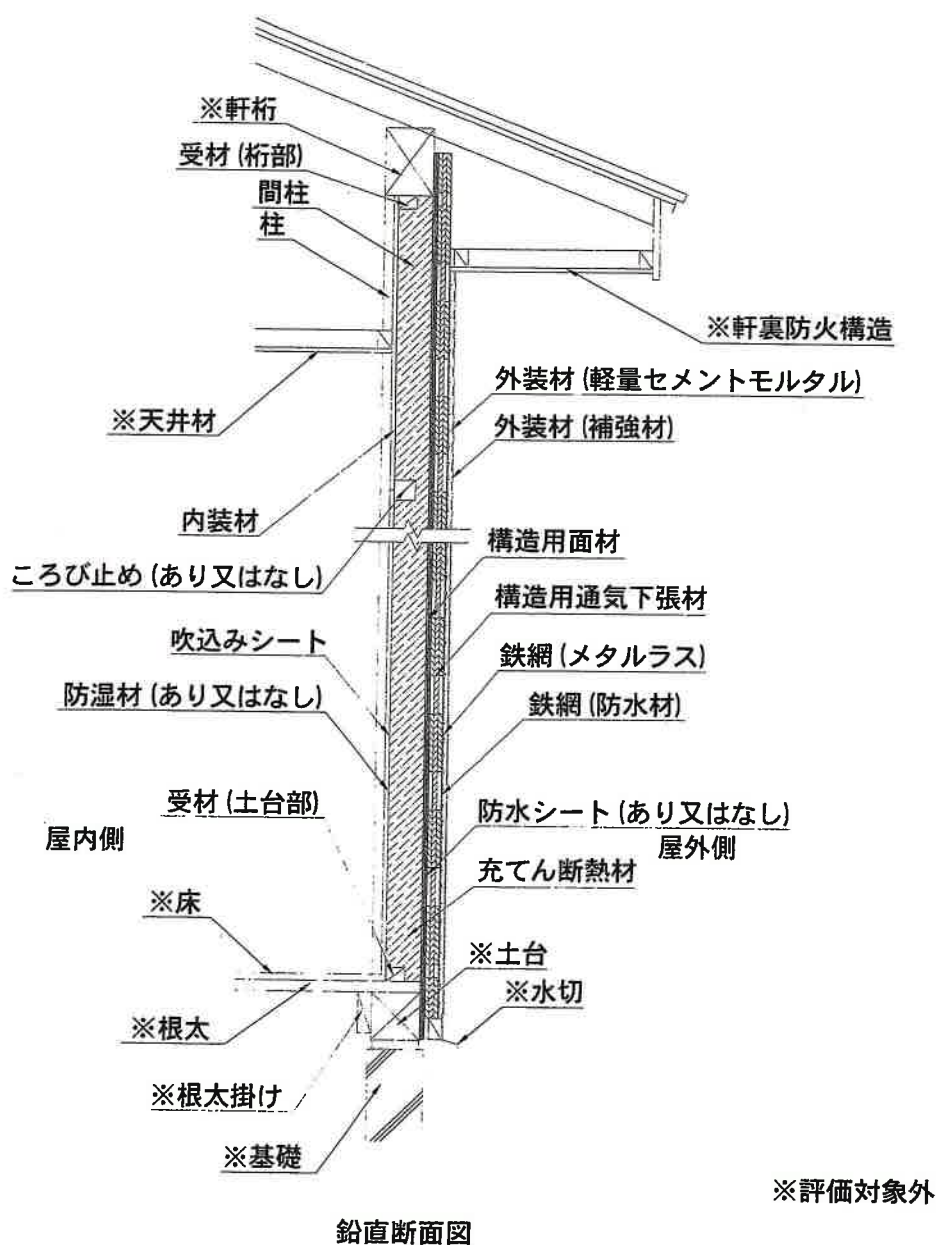
(欠き込み真壁造：構造用面材あり仕様)

図8 施工図



屋内側

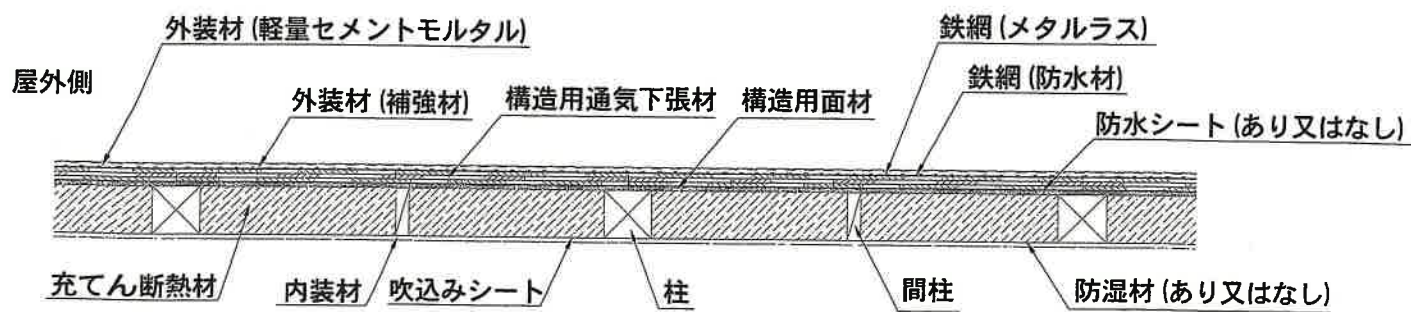
水平断面図



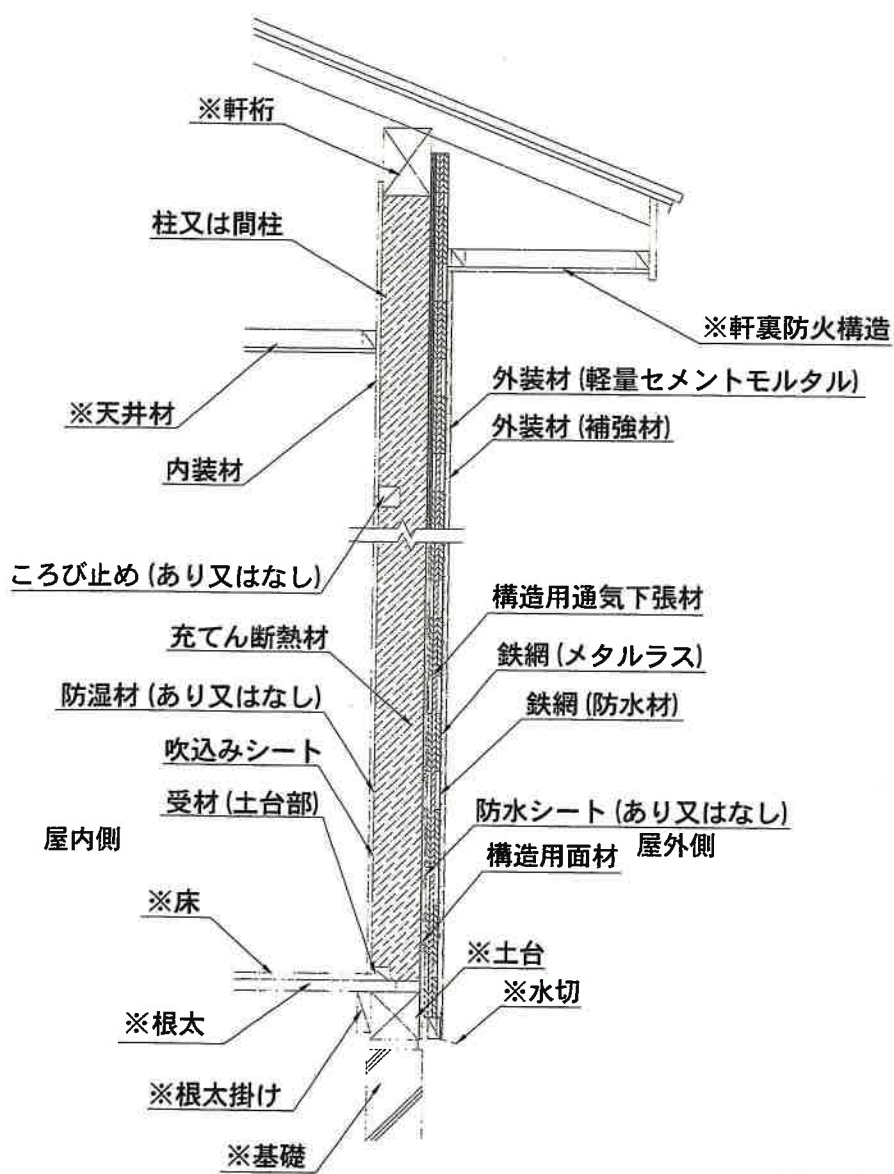
鉛直断面図

(受材真壁造：構造用面材あり仕様)

図9 施工図



水平断面図



※評価対象外

鉛直断面図

(大壁造：構造用面材あり仕様)

図10 施工図